

令和8年1月1日

乳牛市況情報

(毎月1日現在)

全農酪農部
ホクレン酪農部

《前月の動き》

12月については、初妊牛資源が減少傾向に推移したなか、回転需要に加え春分娩の早期手配の動き等により、初妊牛平均価格は、678千円（前月差94千円高・前年差76千円高）値を上げて推移した。

《参考》 12月乳牛専門市場初妊牛取引価格帯

単位：円・頭・%

価格帯	~550,000	~600,000	~650,000	~700,000	~750,000	750,001~	合計
出場頭数	451	218	342	368	349	650	2,378
成立頭数	410	211	335	365	346	650	2,317
取引率	90.9	96.8	98.0	99.2	99.1	100.0	97.4

※令和7年4月開催市場分より価格帯表示を変更しております。

《今後の動き》

1月については、人工授精統計から資源が減少傾向に推移することが見込まれるなか、出回りの中心が春分娩となることから、初妊牛相場は、強含みでの価格展開が予測される。

《予想相場》

単位：千円

種別	ランク	極上	上	中
育成(8~12ヶ月令)		>300	300~250	250~200
初妊		>760	760~700	700~650
経産	2~4産	>400	400~350	350~300
	5産以上		300 中心	

※予想相場はET移植以外の登録牛を対象としています。